



安全データシート (SDS)

バージョン: V2.0

改訂日: 2025 年 10 月 24 日

第 1 項：化学製品及び会社情報

1.1 製品識別子

製品名: 付加型シリコーン (A 剤 及 び B 剤)

別名: プラチナシリコーン

混合比率: A:B = 1:1 (重量比)

製品コード: RTV-40XX シリーズ / RTV-41XX シリーズ / RTV-51XX シリーズ

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 本製品は主に柔軟な型 (モールド)、特殊効果 (SFX)、および人体模型の製作に使用されます (製品グレードによる)。本製品は 2 液性であり、硬化させるには A 剤と B 剤を併用する必要があります。

使用上の制限: 医療用または人体への埋め込み (インプラント) 用途への使用は厳禁です。

1.3 供給者の詳細

会社名: 深圳市明輝聯シリコーン有限公司 (Shenzhen MinghuiLink Silicone Co., Ltd.)

住所: 中国 広東省 深圳市 龍華区 民治街道 新牛社区 民治大道 690 号 東盟大廈 2 階 A22

郵便番号: 518131

電話番号: +86-15899753674

メールアドレス: info@siliconeab.com

1.4 緊急連絡電話番号

日本: 119 (消防・救急)

中国: +86-0532-83889090 (国家化学品登記中心)

緊急連絡電話: +86-15899753674

EU: 112 (一般緊急通報用電話番号)

第 2 項：危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類 (GHS 分類)

本製品は 2 液性のキットであり、各成分の危険有害性区分は異なります。

2.2 A 剤 (Part A)

GHS 危険有害性区分:

- 重篤な眼刺激性 - 区分 2A (H319)
- 皮膚感作性 - 区分 1 (H317)

GHS ラベル要素 (注意書きを含む):

絵表示 (ピクトグラム):



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

- H319: 強い眼刺激。
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き:

- **安全対策:**
 - ◆ P264: 取扱い後は手をよく洗うこと。
 - ◆ P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- **応急措置:**
 - ◆ P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 - ◆ P333+P313: 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 - ◆ P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。
 - ◆ P337+P313: 眼刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

- ◆ P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
- 廃棄:
 - ◆ P501: 内容物/容器を承認された廃棄物処理施設に廃棄すること。

2.3 B 剤 (Part B)

GHS 危険有害性区分: GHS 基準に基づき、本成分は健康に対する有害性物質として分類されません。

GHS ラベル要素:

- 絵表示: 該当なし
- 注意喚起語: 該当なし
- 危険有害性情報: 該当なし

2.4 硬化後のシリコーンゴム (A 剤と B 剤を混合・硬化後)

危険有害性物質として分類されません。硬化後の製品は、化学的に安定した不活性なエラストマー（弾性体）です。

2.5 分類されないその他の危険有害性 (HNOC)

漏出した液体材料は、深刻な転倒（スリップ）事故の原因となります。

第 3 項：組成及び成分情報

3.1 A 剤 成分情報

化学名	CAS No.	EC#	含有量 (重量%)
メチルビニルポリシロキサン	68037-87-6	802-265-5	55-65
シリカ (二酸化ケイ素)	7631-86-9	231-545-4	15-20
ジメチルシロキサン	63148-62-9	613-156-5	15-25
白金 (プラチナ)	68478-92-2	270-844-4	≤0.01

3.2 B 剤 成分情報

化学名	CAS No.	EC#	含有量 (重量%)
メチルビニルポリシロキサン	68037-87-6	802-265-5	55-65
シリカ (二酸化ケイ素)	7631-86-9	231-545-4	15-20
ジメチルシロキサン	63148-62-9	613-156-5	15-25
ポリメチルハイドロジェンシロキサン	63148-57-2	613-152-3	2-5

第 4 項：応急措置

4.1 応急措置の記述

吸入した場合：加熱や噴霧により発生した蒸気やエアロゾルを誤って吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移してください。

気道を確保してください。不快な症状がある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合：通常、刺激を引き起こしません。付着した場合は、接触部位を多量の流水と石鹸で十分に洗ってください。

刺激や不快感が続く場合は、医師の診断を受けてください。

眼に入った場合：直ちに多量の流水で少なくとも 15 分間、上まぶたと下まぶたを時々持ち上げながら洗浄してください。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、直ちに外してください。

洗浄を続け、直ちに医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないでください。水で口をすすぎ、直ちに医師の診察を受け、医師に本 SDS を提示してください。

4.2 最も重要な症状及び影響（急性及び遅発性）

急性影響：通常の使用条件下では、著しい急性の健康被害は予想されません。

眼に入ると、軽度の不快感を引き起こす可能性があります。

遅発性影響：A 剤への反復または長期暴露により、ごく一部の敏感な人にアレルギー性皮膚反応（発疹）を引き起こす可能性があります。

4.3 医師に対する特別な注意事項

対症療法を行ってください。A 剤による皮膚接触の症例を治療する際は、白金化合物による感作の可能性を考慮する必要があります。

第 5 項：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤：耐アルコール性泡、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO₂)、または噴霧水が使用可能です。

使ってはならない消火剤：棒状注水（高圧水流）。

5.2 物質または混合物から生じる特有の危険有害性

本製品は易燃性ではありませんが、火災時には燃焼します。

燃焼により、一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO₂)、酸化ケイ素の煙、および微量のホルムアルデヒドが発生する可能性があります。

5.3 消火活動を行う者の保護

保護具：消防士は、陽圧式自給式呼吸器 (SCBA) および完全な消防用防護服を着用しなければなりません。

消火活動の手順：未開封の容器を冷却するために噴霧水を使用してください。消火用水が排水溝や水道に流入しないようにしてください。

第 6 項：漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急作業員：不要な人員を安全な場所に退避させてください。漏出物との接触を避けてください。

漏出区域の換気を確保してください。

緊急作業員：耐化学薬品性手袋、安全ゴーグル、必要に応じて呼吸用保護具など、適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。

6.2 環境に対する注意事項

漏出物が下水道、地表水、または地下水系に流入しないようにしてください。大量の漏出が発生した場合は、直ちに地域の環境当局に通知してください。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合: 不活性な吸収材（例：砂、珪藻土、おがくず）を使用して漏出物を吸収し、ラベル付きの容器に回収して廃棄してください。

多量の場合: 堤防や溝を築いて封じ込めてください。ポンプを使用して液体を専用容器に移送してください。

残留物については、少量の場合と同様の手順に従ってください。

浄化後: 滑る危険を取り除くために、水と洗剤で漏出区域を徹底的に洗浄してください。

第 7 項：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

技術的対策: 換気の良い場所で取り扱ってください。皮膚や眼への接触を避けるため、第 8 項に記載されている個人用保護具を着用してください。

取扱いの注意: 皮膚や眼への接触を避けてください。取扱い中は適切な個人用保護具を着用してください。容器は密閉してください。

衛生対策: 作業エリアでの飲食や喫煙は禁止です。

取扱い後は石鹸と水で手をよく洗ってください。

硬化阻害に関する注意: 硫黄、スズ、アミンを含む化合物との接触は避けてください。これらの物質は白金触媒の活性を阻害します。

7.2 安全な保管条件（混触危険物質を含む）

保管条件: 熱源、火花、裸火から離れた、涼しく乾燥した換気の良い倉庫に保管してください。

容器を密閉して保管してください。推奨保管温度は 10-30°C です。

混触危険物質: 強酸化剤、水、アルコール、酸、塩基、アミン、スズ化合物、硫黄化合物、金属粉末。

第 8 項：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

化学名	CAS No.	ACGIH	NIOSH	OSHA
メチルビニルポリシロキサン	68037-87-6	N/A	N/A	N/A
シリカ	7631-86-9	N/A	N/A	N/A
ジメチルシロキサン	63148-62-9	N/A	N/A	N/A
白金	68478-92-2	N/A	N/A	N/A
ポリメチルヒドロジェンシロキサン	63148-57-2	N/A	N/A	N/A

8.2 ばく露防止措置

設備対策：工学的対策を優先してください。液体の取扱いについては、通常、良好な一般換気で十分です。

個人用保護具 (PPE):

- **呼吸用保護具：**換気が良好で通常の液体取扱いを行う場合は不要です。
- **手の保護具：**皮膚刺激や感作を防ぐために、ニトリルゴムやブチルゴムなどの耐化学薬品性材料で作られた保護手袋の着用を推奨します。
- **眼の保護具：**サイドシールド付き安全眼鏡を着用してください。飛沫のリスクがある場合は、化学用安全ゴーグルを着用してください。
- **皮膚及び身体の保護具：**皮膚への暴露を最小限に抑えるため、標準的な作業服を着用してください。

第 9 項：物理的及び化学的性質

性質	A 剤 (Part A)	B 剤 (Part B)
外観・性状	粘稠な液体、半透明または透明	粘稠な液体、半透明または透明
臭い	無臭	無臭
引火点	>100.0°C (密閉式)	>100.0°C (密閉式)

粘度 (@25°C)	1,000-30,000 mPa·s	1,000-30,000 mPa·s
比重	約 1.05–1.30g/cm ³	約 1.05–1.30g/cm ³
溶解性	水に不溶	水に不溶

第 10 項：安定性及び反応性

10.1 反応性

通常の条件下では反応性なし。

10.2 化学的安定性

推奨される保管条件下では化学的に安定しています。

10.3 危険有害反応の可能性

通常の使用および保管条件下では、危険な重合反応やその他の危険な反応は発生しません。

10.4 避けるべき条件

極端な高温、着火源、およびすべての混触危険物質との接触を避けてください。

10.5 混触危険物質

強酸化剤、水、アルコール、酸、塩基、アミン、スズ含有化合物、硫黄含有化合物、および金属粉末。

10.6 危険有害な分解生成物

通常の条件下では分解しません。火災などの高温条件下では熱分解が発生し、一酸化炭素、二酸化炭素、シリカヒューム（煙）、および微量のホルムアルデヒドなどの有害物質が生成されます。

第 11 項：毒性情報

11.1 急性毒性

化学名	CAS No.	LC50/LD50
メチルビニルポリシロキサン	68037-87-6	LD50 ラット (経口): > 5000 mg/kg
シリカ	7631-86-9	LD50 ラット (経口): > 5000 mg/kg
ジメチルシロキサン	63148-62-9	LD50 ラット (経口): > 5000 mg/kg
白金	68478-92-2	データなし
ポリメチルヒドロジェンシロキサン	63148-57-2	LD50 ラット (経口): > 2000 mg/kg

11.2 皮膚腐食性/刺激性

著しい皮膚刺激を引き起こすとは予想されません。

11.3 重篤な眼損傷性/眼刺激性

重篤な眼刺激を引き起こすとは予想されませんが、直接接触すると一時的な不快感を引き起こす可能性があります。

11.4 呼吸器または皮膚感作性

A 剤: 白金錯体触媒 ($\leq 0.01\%$) を含んでおり、ごく一部の敏感な人にアレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性があります。

B 剤: 既知の感作性はありません。

11.5 生殖細胞変異原性

利用可能な成分データに基づき、変異原性の証拠はありません。

11.6 発がん性

発がん性物質として分類されていません。供給される粘稠液体の形態では、石英粒子はポリマーマトリックスによって完全にカプセル化されており、浮遊粒子の形成を防ぎ、吸入暴露経路を遮断しています。

11.7 生殖毒性

データなし。

11.8 特定標的臓器毒性

単回暴露: データなし。

反復暴露: データなし。

第 12 項：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生生物に対して急性の毒性があるとは予想されません。ただし、環境への直接排出は避けるべきです。

12.2 残留性及び分解性

製品中の有機ケイ素ポリマー成分は、環境中で容易に生分解されません。

土壌および水中で非常に残留性があります。

12.3 生体蓄積性

特定の低分子量環状シロキサン不純物は、生体蓄積の可能性がある場合があります。

12.4 土壌中の移動性

製品は水に不溶であり、土壌中での移動性は非常に低いと予想されます。

第 13 項：廃棄上の注意

未硬化製品: 化学廃棄物として処分する必要があります。適用されるすべての地方、州、および連邦の規制を遵守しなければなりません。

下水道への製品の直接排出は禁止されています。

硬化製品: 完全に硬化したシリコンゴムは不活性で非危険性の固形廃棄物であり、地域の規制に従って一般産業廃棄物または事業系ごみとして処分できます。

汚染された容器: 製品で汚染された空容器は、製品自体と同じ要件で取り扱われるべきです。

第 14 項：輸送上の注意

国際および国内の輸送規制（DOT, IATA, IMDG）によると、本製品の A 剤および B 剤はいずれも輸送上の危険物として分類されていません。

輸送分類表

規制	国連番号 (UN No.)	国連出荷正式名	クラス	容器等級
DOT (米国)	該当なし	規制対象外	該当なし	該当なし
IATA (航空)	該当なし	規制対象外	該当なし	該当なし
IMDG (海上)	該当なし	規制対象外	該当なし	該当なし

環境有害性: いいえ。

輸送上の注意: 輸送中は容器が密封され、漏れがないことを確認してください。

第 15 項：適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康、および環境規制/法律

化学名	CAS No.	TSCA	IECSC	DSL/NDSL	EINECS/ ELINCS/ NLP
メチルビニルポリシロキサン	68037-87-6	Listed	Listed	Listed DSL	Listed
シリカ	7631-86-9	Listed	Listed	Listed DSL	Listed
ジメチルシロキサン	63148-62-9	Listed	Listed	Listed DSL	Listed
白金	68478-92-2	Listed	Listed	Listed DSL	Listed
ポリメチルハイドロジェンシロキサン	63148-57-2	Listed	Listed	Listed DSL	Listed

第 16 項：その他の情報

作成日または最終改訂日: 2025 年 10 月 24 日

略語の解説:

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

CAS: ケミカル・アブストラクト・サービス

EC#: 欧州化学品番号

GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

HNOC: 分類されないその他の危険有害性

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物規程

NIOSH: 米国国立労働安全衛生研究所

OEL: 職業性暴露限界

OSHA: 米国労働安全衛生局

PEL: 許容暴露限界

PG: 容器等級

PPE: 個人用保護具

PVC: ポリ塩化ビニル

REL: 推奨暴露限界

RTV: 室温加硫 (Room Temperature Vulcanizing)

SCBA: 自給式呼吸器

SDS: 安全データシート

TLV: 閾値

TSCA: 有害物質規制法 (米国)

TWA: 時間加重平均

UN: 国連

免責事項: 本安全データシートの情報は、発行日時点で我々が知る限り、信じる限りにおいて正確なものです。

提供される情報は、安全な取扱い、使用、加工、保管、輸送、廃棄、およびリリースのための指針としてのみ意図されており、保証または品質仕様と見なされるべきではありません。

この情報がユーザーの特定の目的に適しているかどうかを判断することは、ユーザー自身の責任です。